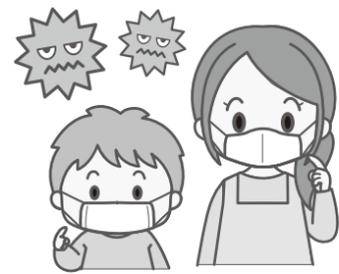


# 新型コロナウイルス感染拡大 福祉職場の今は

「コロナ禍での福祉や民間保育園での大変な状況を、福祉保育労大阪地本の小本書記次長にお聞きしました。」



今、新型コロナウイルスの感染拡大で福祉職場者が出た場合、本来なら病院などの隔離施設で療養して、他の利用者などと接触しないようにすべきですが、厚労省は「軽症者であればその施設内で療養するように」と無責任な指針を出しています。

訪問介護の職場では、「感染防止

のため介護時間を短縮しても通常の報酬は請求できる」と厚労省は言っていますが、利用者は通常の時間通りの分を自己負担しなければならぬので現場は混乱しています。また、利用者が感染の不安から介護を断るケースもあり、事業所の収益が前年と比較し3割から4割減っているところもあります。

民間保育園では、緊急事態宣言中に自治体からの要請で休園した際の自宅待機を有給休暇で対応させられるなど、そのし

わ寄せが労働者に及ぶケースがありました。内閣府は「臨時休園でも通常通り収入は補償するので人件費も適切に対応すべき」と通知しています。こうした状況の中、福祉保育労では早くから国

や府などの関係機関へ「国や府が責任を持って対応するように」と要請行動に取り組んでいきます。職場でも「自宅待機は有給休暇の特別休暇で対応することを要求しよう」と呼びかけ、夏季闘争と合わせて奮闘していきます。それと同時に「今こそ労働組合の出番」と、組合の姿を「見える化」することを進めて組織拡大に取り組んでいきます。大阪労連でも福祉労とともに運動をすすめていきます。

## 2020年度大阪労連組織集会 なかまをふやして組織を元気に！



7月11日、国労大阪会館で2020年度大阪労連組織集会を開催しました。菅議長の開会あいさつに続いて、おおさか労働相談センター事務局次長の宮崎徹さんに「コロナ禍をのり越え、組織の強化・拡大を実現しよう！」というタイトルで講演していただきました。

前半はこの間の労働相談の実態と特徴、コロナ問題では、当初は制度や安全対策、休業補償等の相談が多かったのに対して、現在は解雇の相談が増えつつあるとのお話でした。

後半は、労働組合として会社とどのように対峙していくかという内容を握り、一方的な労働条件引下げや解雇・退職勧奨には応じない、労働条件の変更は必ず労使合意の上で行うなど。そして最後に拡大に特効薬はない、地道な活動の継続こそが大切である」とまとめられました。

河野組織局長の基調報告では、「コロナ禍の下でも工夫してとりくんだ組織で加入につなが

た。最後は、労働組合として会社とどのように対峙していくかという内容を握り、一方的な労働条件引下げや解雇・退職勧奨には応じない、労働条件の変更は必ず労使合意の上で行うなど。そして最後に拡大に特効薬はない、地道な活動の継続こそが大切である」とまとめられました。

**国労大阪会館を**  
研修・学習会などにご利用ください  
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ  
◆身障者用昇降機設置  
お申し込みは ☎06(6354)0661  
〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

### 「三四労の会」 第17回学習交流会・総会



「三四労の会」は、6月27日、第17回学習交流会・総会を開催し、26人が参加しました。講師の西川大史弁護士から、コロナ禍によって明らかになった労働組合の必要性・重要性の話がありました。

### 被爆75年の 国民平和行進



6月30日から7月7日まで、国民平和行進が大阪府内を通過しました。今年はコロナ禍のため、感染にも注意・工夫された行進となりました。引き続き、核兵器廃絶に向けて署名等の取り組みを強化していきましょう。

### 大阪からすべての 争議をなくそう！



7月9日、大阪争議支援総行動を展開し、早朝宣伝を2ヶ所所で実施しました。若松浜公園での出発集会を経て、13の企業や行政、法人への抗議・要請行動には、最大で150人を超える参加があり、争議の早期解決を求めました。

### 民間部会 学習交流会を開催



8月1日、民間部会は「学習交流会」を開催しました。講師は遠地靖志弁護士にお願いして「コロナと労働者の権利問題」を学習。その後、コロナ禍の中での春闘・夏季一時金の闘いや組織拡大・強化について交流しました。

### 労働安全衛生学習会



## テレワークのルール化を 労使で話し合う必要あり

7月17日、大阪労働安全センターとの共催で労働安全衛生学習会が国労大阪会館で開催され、28人が参加しました。学習では、丹野弘さん(全労働)が感染症対応として使用者主導で広がっているテ

レワークについて、労働者が精神的に孤立する問題などがあり、ルール化が必要だと指摘しました。交流では「コロナや災害対応など全く人が足りていない」「新たな日常というが詰め込み授業と40人学級で過密状態は以前以上」「検査も受けられず、物資不足で命の危険を感じながら働いている」「仕事がなくなったバス、食品配送で休みなしのトラック」「一時帰休が出ている」など、リアルな実態が出されました。参加者からは、「様々なリアルな実態がよくわかった」「労働安全衛生委員会を定期的に開くように要求していきたい」などの感想が出されていました。

## コロナ禍の中オンラインで 全労連第30回定期大会



7月29日・30日に全労連第30回定期大会がコロナ感染防止のためオンラインにて開催されました。大阪労連からは代議員9人、傍聴4人と全労連の副議長でもある菅議長が出席しました。大会の中で大阪労連を代表して

嘉満事務局局長が「コロナの影響で、これまでのような歓迎会や集会が困難となる中、これまでの教訓を活かし、職場での粘り強い働きかけ、役員だけでなく組合員一人ひとりに依拠した拡大の追求が必要。大阪維新の会の1丁目1番地である大阪都構想を阻止することは、維新の会の存在意義を削ぐことである。そして、改憲を煽る維新の会を打倒し、安倍改憲阻止へとつなげていくことを目的としてたたかいを強化する」と発言しました。大会の最後は、小畑新議長による「団結ガンバロー」で終了しました。